



元気な企業づくりに経営革新！

経営革新計画 事例集

平成 30 年 3 月



茨城県商工労働観光部中小企業課

経営革新計画承認制度とは

「新商品の開発に取り組みたい」「新サービスの提供を考えている」「新たな生産、販売方式の導入を考えている」・・・など、新たな取組を行い、経営の向上を図ることが、経営革新です。

経営革新計画承認制度は、中小企業等経営強化法に基づき、経営革新に取り組む中小企業者を支援する制度です。

経営革新の流れ（例）

自社の現状を把握……………競合店が出店。売上が減少している。

経営課題の抽出……………他店の商品や売り方との差別化が図られていない。

対応策の検討……………自社の強みを活かして、他店が取り組んでいないことを…。
(どのように、自社の経営を革新するか)

具体的な戦略作り……………誰に、何を、どのように。

経営革新計画書作成

- 計画期間3年～5年
- 新たな事業活動に挑戦し、
- 付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）が年平均3%伸びること及び経常利益が年平均1%伸びることを目指す。

県への申請

計画の承認

計画の実施……………新事業を開始。

実施結果の分析……………〇〇が原因で予想より、売上が伸びていない。
顧客ニーズなどの事業環境が計画を作成したときと変わった。

計画の修正……………△△を修正すれば、うまくいくのではないかと。
環境の変化に応じて、やり方を見直す。

修正した計画で再度実施

支援策…政府系金融機関による低利融資、県制度融資、信用保証の特例等

※支援策を利用するには、別途、各支援機関による審査を受ける必要があります。計画策定の段階で、それぞれの支援機関に利用の条件（資金調達のための担保、保証人）等を確認してください。

経営革新計画に伴う主な支援策

支援策	概要
(1) 茨城県制度融資 (新分野進出等支援融資)	経営革新計画の実施に必要な設備投資や運転資金についての融資制度です。 【問い合わせ先】 茨城県商工労働観光部産業政策課 TEL 029-301-3530
(2) 政府系金融機関 による低利融資	経営革新計画の実施に必要な設備投資や運転資金についての融資制度です。 政府系金融機関（日本政策金融公庫）から融資を受ける際の利率が、通常の利率より低くなります。 【問い合わせ先】 日本政策金融公庫（中小企業事業） 水戸支店 TEL 029-231-4246 日本政策金融公庫（国民生活事業） 水戸支店 TEL 029-221-7137 土浦支店 TEL 029-822-4141 日立支店 TEL 0294-24-2451
(3) 中小企業信用 保険法の特例	経営革新計画に従って行う事業に必要な資金について、信用保証協会からの保証枠が広がる制度です。 【問い合わせ先】 茨城県信用保証協会 本店 TEL 029-224-7811 土浦支店 TEL 029-826-7811
(4) 特許関係料金の 減免	特許申請を行う場合、特許関係料金（①審査請求料②特許料（第1年～第10年分））が半額軽減される制度です。 ※経営革新計画開始から計画終了後2年以内の出願が対象 【問い合わせ先】 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課 TEL 03-3501-1773
(5) 海外展開に伴う 資金調達支援 (株)日本政策金融 公庫法の特例)	中小企業者の外国関係法人等が、現地（海外）の金融機関から期間1年以上の長期資金を借入する際に、日本政策金融公庫が信用状（スタンドバイ・クレジット）を発行し、その債務を保証する制度です。 ※承認経営革新計画に基づく海外展開の取組が対象 【問い合わせ先】 日本政策金融公庫（中小企業事業） 水戸支店 TEL 029-231-4246
(6) 中小企業総合展	中小企業基盤整備機構が開催する中小企業総合展に出展し、経営革新による新商品等を紹介できます。 【問い合わせ先】 中小企業基盤整備機構販路支援部 TEL03-5470-1525

※支援策を利用するためには、計画の承認とは別に、各支援機関の審査を受ける必要があります。
計画作成の段階で、それぞれの支援機関に利用の条件等をご確認ください。
(上記支援策は、平成30年1月現在のものです。)



この事例集は、県から経営革新計画の承認を受けた事業者の中から、様々な創意工夫により経営の向上を果たし、平成29年度いばらき経営革新優秀賞を受賞された3社と、平成28年度までに計画期間が到来した4社の協力を得て、経営革新計画の取り組みについてご紹介させていただくものです。

本事例集が、これから経営革新計画に取り組む皆様や、既に取り組んでいる皆様のご参考になれば幸いです。



CONTENTS

目次

1	平成29年度いばらき経営革新優秀賞	1
2	経営革新計画承認企業の実績事例	
	【平成29年度いばらき経営革新優秀賞受賞企業】	
	【最優秀賞】株式会社小野写真館（写真業）	2
	【優秀賞】株式会社全米協システム（米穀類小売業）	4
	【同】株式会社KSK（非破壊検査業）	6
	【平成28年度までに計画期間が到来した企業】	
	① 有限会社サワムラヤ（靴・履物小売業）	8
	② 有限会社歌舞伎あられ池田屋（米菓製造業）	8
	③ モリ幸クリーニング（洗濯業）	9
	④ 株式会社プリマベールジャパン（ベビーシッター派遣ほか）	9
	【過去のいばらき経営革新優秀賞受賞企業紹介】	10
3	参考資料	11

平成29年度いばらき経営革新優秀賞



いばらき経営革新優秀賞表彰式（いばらき中小企業経営革新フォーラム2017）

※写真左端は茨城県商工労働観光部 岩上次長、写真右端は審査委員長 宮田 貞夫氏

茨城県では、経営革新計画の承認を受け、新たな事業活動に取り組む中小企業のうち、前年度に計画期間が終了した企業を対象に、計画の実施状況や実現までの創意工夫、経営指標等を総合的に審査し、模範的取組を表彰する『いばらき経営革新優秀賞』を実施しています。

4回目となる平成29年度は、下記の3社が受賞されました。



株式会社小野写真館（ひたちなか市）

代表取締役 小野 哲人氏（写真中央）

テーマ 衣装、美容、写真内製化のウェディング専門レストランの出店&ゲストハウス運営



株式会社全米協システム（石岡市）

代表取締役 田崎 克幸氏（写真右から2番目）

テーマ 石岡の地域資源を生かした新業態店舗の開発とO2O展開による収益基盤の再構築

株式会社KSK（取手市）

代表取締役 山下 英俊氏（写真左から2番目）

テーマ 新技術の実用化による的確な構造物の調査・診断・評価業務の提供



平成29年度 いばらき経営革新優秀賞受賞企業

株式会社小野写真館

代表取締役 小野 哲人 氏

所在地	ひたちなか市東大島2-2-16
計画テーマ	衣装、美容、写真内製化のウェディング専門 レストランの出店&ゲストハウス運営
業種	写真業
創業年	昭和51年
計画承認年月	平成23年12月
計画期間	平成23年7月～平成28年6月（5年計画）



写真館の強みを活かし他分野に進出

当社は、昭和51年に創業し、長らくひたちなか市において写真館を運営してきましたが、2代目である現社長への事業承継を契機として、ブライダル事業及び振袖レンタル事業に進出しました。

ブライダル事業については、近年増加している少人数のカジュアルウェディング需要の取り込みを図るため、フォトウェディングショップ（挙式と写真撮影のみ提供）やドレスショップ、結婚式場紹介のセレクトショップ等を運営しており、本業の写真業と並ぶ収益事業となっています。



フォトウェディングショップ外観

自社の披露宴会場を持たないことが課題に

ブライダル業界において、衣装、美容、写真等の付属サービスについては、通常は結婚式場からの外注により下請け事業者が担当することがほとんどですが、当社では式場紹介セレクトショップの運営を通じて、各式場との協力関係を構築することにより、これらの業務を元請け事業者として受託しています。

これらの取組により、事業の開始以来高い利益率を維持してきたところですが、独自の披露宴会場を有していなかったことから、安定した売上の確保といった面で課題がありました。

そこで、売上の安定化のためには自社で披露宴会場を持ち、料飲事業に進出する必要があると考え、茨城県中小企業団体中央会へ相談のうえ、経営革新計画に取り組むことを決意しました。

経営革新

「ウェディングレストラン&ゲストハウスの運営」

策定した計画に基づき、平成25年2月には、龍ヶ崎市に当社初となるゲストハウス「アルシェ」を、平成27年5月には、ひたちなか市の本社敷地内に、同じく当社初となるウェディング

レストラン「アリーズ」を出店しました。

多くの結婚式場やホテル等では、100名以上の収容力を有する比較的大規模な披露宴会場を保有している場合が多いですが、当社では近年のトレンドである少人数かつカジュアルな披露宴を意識し、ウェディングレストランの定員については、あえて60名程度の比較的小規模なものとなりました。



ウェディングレストランの外観・内観

お客様の希望に応じた多様な披露宴が 実施可能に

自社会場を保有し料飲事業に進出したことにより、ビュッフェ形式を取り入れた1.5次会感覚の比較のカジュアルな披露宴や、親族向けと友人向けを分離した2部制の披露宴など、お客様の希望に応じた自由度の高い様々な形態の披露宴の提案が可能となり、お客様から好評を得ています。

また、挙式や披露宴を希望しないお客様を対象に、「フォト会食」と題して、写真館での写真撮影とレストランでの記念会食を組み合わせたプ

ランも提供しています。

なお、当初の計画ではレストランとゲストハウスを1店ずつ出店する予定でしたが、それぞれさらに1店ずつ出店を行い、現在は県内に合計4店の披露宴会場を有しています。

2回目の経営革新計画で既存業務の効率化を図る

ウェディング事業の拡大と並行して、平成25年には2回目の経営革新計画の承認を受け、既存業務の効率化に取り組みました。

以前は、お客様情報を書類で管理していたことから、効率的な情報管理が課題となっていました。また、お客様への説明の際は、各店舗でその都度、紙の資料を用意していたことから、タブレット端末等のお客様説明への活用も求められていました。

そこで、これらの課題を解決するため、クラウドを活用した社内情報の一元管理システムと、それを活用した営業サポートシステムの構築に取り組むこととしました。

まだシステムを運用し始めたばかりですが、今後も新たなビジネスモデルの構築に積極的に取り組みつつ、既存業務の改善・効率化にもしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

首都圏へ進出、将来的には全国展開を

これまでは県内で出店を拡大してきましたが、平成27年からは県外進出にも積極的に取り組んでいます。神奈川県横浜市への出店を皮切りに首都圏進出を図っており、現在は神奈川県に7店舗、東京都に1店舗、千葉県に1店舗を構えています。

将来的には全国展開を目指しています。今回の計画により、ブライダル事業で成果を収めることができましたが、当社の根幹はあくまでも創業事業である写真館事業であると考えています。現在の写真館事業、ブライダル事業及び振袖レンタル事業の売上構成比を維持しつつ、写真業で培った強みを活かしながら、社会が求めるニーズを的確に捉えて、今後のビジネスを展開していきたいと考えています。



平成29年度 いばらき経営革新優秀賞受賞企業

株式会社全米協システム

代表取締役 田崎 克幸 氏

所在地	石岡市若宮3-2-7
計画テーマ	石岡の地域資源を生かした新業態店舗の開発とO2O展開による収益基盤の再構築
業種	米穀類小売業
創業年	昭和25年
計画承認年月	平成25年7月
計画期間	平成24年7月～平成28年6月（4年計画）



3代続く地域密着型の米販売店

当社は、昭和25年に創業した米販売店で、3代に渡り事業を営んできました。主に病院や飲食店等への卸売販売を手掛けているほか、地域のお客様への配送サービス等にも取り組み、地域密着型の米店として評価を得てきました。



店舗外観

販売競争の激化や米離れ等により売上が激減

しかし、平成7年の食糧管理法の廃止を契機として、大手小売店等との競争が激化したことに加えて、日本人の米離れにより米の消費量自体が減少した結果、売上高は20年間で最盛期の20分の1程度まで落ち込んでしまいました。

売上の減少を補てんするため、野菜や雑穀等を試験的に取り扱いましたが、売上の回復には至らなかったことから、収益基盤の再構築を図ることが喫緊の課題となっていました。

このような中、石岡市の地域資源を生かした新事業が展開できないかと考えました。獅子舞で有名な常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）や常陸国風土記に代表されるように、石岡市はかつての常陸国の中心地として1,300年以上の歴史を有しています。また、近年はいわゆる「萌えキャラ」である「いしおか恋瀬姫」を活用した街おこしも盛んになっています。

これらを活用した新事業を具体化するべく、地元の商工会議所の支援を受け、経営革新計画に取り組むことを決意しました。

経営革新

「石岡の地域資源を生かした新業態店舗の開発」

テーマ名にある「O2O（オーツーオー）」とは、「Online to Offline」の略で、インターネット上（オンライン）から実地（オフライン）での行動へと促す取組を指します。歴史やサブカルチャー等に興味を持つ方が、近年はインターネットを中心に情報収集を行い、その後実際にゆかりの地等

を訪れる例が見られることから、このような需要の取り込みを図ることとしました。

まず当社が取り組んだのは、店舗構成の変更です。店内を①恋愛成就、②開運祈願、③石岡の歴史の3つのゾーンに分けました。その上で、いしおか恋瀬姫をパッケージにあしらった地元産コシヒカリ「恋瀬姫の舞」や、自社ブランド米である「開運祈願米『獅子舞』」等のほか、市内酒蔵の地酒、雑貨（いしおか恋瀬姫グッズ、獅子頭グッズ等）、観光案内パンフレット等の展示・販売に取り組みました。店舗正面には、いしおか恋瀬姫をあしらったのれんを設置したほか、古い米蔵をイメージした杵臼や小型精米機等も陳列するなど、SNS等を通じて来店するお客様を意識した店舗づくりに努めました。

また、自社ホームページを新たに立ち上げ、インターネット販売を開始したほか、地元観光施設（常陸風土記の丘、県フラワーパーク等）の売店や直売所、ショッピングモールや交流施設、茨城マルシェ（東京・銀座の県アンテナショップ）等への卸販売など、店舗外での販売や各種イベントでのPRにも積極的に取り組みました。



茨城マルシェでのイベントの様子

さらに、恋瀬姫の舞の袋裏面に、石岡市の見どころや地域資源等について6か国語（日本語、英語、フランス語、ロシア語、中国語、韓国語）で記載し、商品の魅力向上及び海外からの需要取り込みにも併せて取り組みました。

ふるさと納税返礼品としての需要が急増

計画開始後、恋瀬姫の舞がテレビ局の取材を受けるなど、各所で話題となり始めました。その影響もあり、平成26年には恋瀬姫の舞が石岡市のふるさと納税返礼品に指定されました。

すると、インターネットを通じて爆発的な人気となり、平成28年には大手ふるさと納税ポータルサイトの米部門で、出荷数が全国3位となりました。

また、購入された方の中には、当初は見た目や話題性で買ったものの、米の味自体を気に入り、その後も継続して購入される方もいらっしゃいます。

これらの影響により、現在では返礼品を中心に、年間7千件近い需要があり、当社を代表するヒット商品となっています。



大ヒット商品となった恋瀬姫の舞

「米」をテーマに第2、第3の経営革新へ

平成28年には2回目の経営革新計画の承認を受け、地元産玄米を用いた煎餅である「ポンせん」の製造販売に取り組んでいます。

また、3回目の経営革新計画として、米粉を使用した団子の製造販売事業についても今後取り組む予定です。

人口減少や日本人の米離れなど、米を取り巻く状況は厳しさを増していますが、米販売店として、今後も米の消費拡大を目指し、新たな取組を積極的に仕掛けていきたいと考えています。



平成29年度 いばらき経営革新優秀賞受賞企業

株式会社KSK

代表取締役 山下 英俊 氏

所在地	取手市新町 1-2-35
計画テーマ	新技術の実用化による的確な構造物の調査・診断・評価業務の提供
業種	非破壊検査業
創業年	平成15年
計画承認年月	平成26年5月
計画期間	平成26年2月～平成29年1月（3年計画）



●高品質で正確さを重視した調査・点検を実施

当社は、平成15年に創業した非破壊検査業で、主に大手ゼネコンやコンサルタント会社などの下請けとして、橋梁などのコンクリート構造物の維持管理のための調査・点検業務を行っております。

また、博士1名、技術士5名、コンクリート診断士11名が在籍しているほか、構造物維持管理を専門としている大学教授約10名と技術契約を締結しているため、高品質なサービスを提供できる体制を構築しております。

●調査・点検の科学的根拠が課題に

しかし、橋梁の点検業務につきましては、外観のひび割れや内部空洞の有無、鉄筋の腐食等を目視等で計測することが一般的となっておりますが、作業員の経験に依存するところが大きくなっています。科学的に確立された計測方法が無いということも課題と認識していました。

このため、茨城大学等と共同で、点検業務における新調査技術「ロングゲージFBG光ファイバによる橋梁モニタリング技術」の開発に取り組んできました。この技術は、光ファイバを連結させ

て、橋梁に分布的に設置することにより、車が通過する際の橋梁の挙動を低コストかつ高精度に計測するものであります。

しかしながら、新調査技術を実用化するうえで、モニタリングに使用するセンサの「長耐久性及び取扱いの容易性」、「温度補正対応（外部環境の温度変化によるセンサの伸縮を補正）」、「効



当社スタッフ

果的な設置方法や測定項目の検討」などが課題となっておりました。

そこで、取手市商工会の支援を受け、自社内部や外部環境の分析を行い、事業面と経営面の両面から事業戦略を策定し、事業の方向性を定めることを目的として、経営革新計画に取り組むこととしました。

●経営革新

「新技術の実用化による構造物の調査・診断・評価の実施」

新調査技術の実用化のため、当社測定技術に適用可能なセンサを同業者と共同開発するとともに、センサを容易に構造物に取り付けるための治具を開発しました。今後、改良を重ねることにより、更に高精度なセンサを開発したいと考えております。

また、茨城大学と連携し、新調査技術によって得られた情報を用いて構造物の健全性を科学的に診断するため、データの蓄積による評価方法の検討や設置作業の簡便化を行うために、測定に係る試験等を実施いたしました。試験等を継続的に実施したところ、問題なくモニタリングできていることから、今後も継続的に実施することにより、更なるノウハウの確立を進めていきます。

なお、新調査技術の実用化により、施設の適正管理に敏感である空港管理会社などから点検依頼を受けております。

今後は、当技術に係るパイオニアとして、新技術の普及・促進を図るため、同業者に対しての技術的なコンサルティングの実施も検討していきます。



センサ計測状況

●検査技術の向上により既存業務の業績も向上

また、新調査技術の実用化に茨城大学等と連携して取り組んだことにより、既存業務の検査技術の向上も図ることができました。その結果、顧客から高品質な検査技術を有しているとして認知度が高まり、信用力の増大につながったことにより、既存事業についても売上が増加しました。

今後、社会インフラの老朽化により、構造物の検査に係る需要が加速的に増加すると思われます。そのため、今後は行政機関に対して、高品質な検査技術の有用性を訴求していきたいと思っております。



検査の様子

●経営革新を通じた業界の意識の変革

これまでは営業力の不足が課題となっておりましたが、経営革新計画の策定に取り組んだことにより、取引先への提案営業を行う際に、発注者側から技術的な相談や他の企業への紹介を受けるケースが増加しており、営業面においても好循環が生じています。

今後は、2回目の経営革新計画の策定を考えております。赤外線システムや3Dスキャンシステムを活用した新たな検査方法を提案するもので、より高品質な検査技術の提供を予定しています。

しかしながら、建設業界では構造物の検査業務について、まだまだ品質よりも価格を優先する傾向があることから、社会的な価値を高めていくために、学識経験者等を通じて高品質な検査の必要性を提案し、品質重視の流れが主流となるよう、業界全体の変革に貢献していきたいと思っております。

1

「県内唯一のウォーキングライフマイスターのいるウォーキング専門店事業」の展開
有限会社サワムラヤ

企業概要 ▶所在地：牛久市中央3-27-4 ▶代表者：入江 秀夫 ▶業種：靴・履物小売業

○計画作成時の状況・計画内容

明治期の創業。地域密着型の靴店として、長年にわたり靴販売に取り組んできたが、近年は大手靴販売店との競争激化等により売上が伸び悩み、他店との差別化が求められていた。

一方で、後継者（現代表）がノルディックウォーキング（※）や足に関する豊富な知識や資格を有していたことから、ウォーキング専門店への変革及び顧客との接点強化の取組を行うこととした。

- ・ノルディックウォーキング専門コーナーの設置
- ・ノルディックウォーキング公認指導員の育成
- ・ウォーキング体験、足型測定等のイベント開催
- ・オーダーメイドインソール（中敷き）の提供

※クロスカントリーの夏季トレーニングとして発展した北欧発祥のスポーツ。歩行時に2本のポールを使用。

○計画の成果・感想及び今後の展開

ウォーキング関連商品の販売や指導手数料等により、若干の売上増となった。

現在は2回目の経営革新計画を実行中。創業事業であるオリジナル下駄の製造・販売事業に取り組み、売上の拡大を図る。



店舗外観

2

自社ブランドによる地場産農産物を活用した地域限定商品シリーズの開発
有限会社歌舞伎あられ池田屋

企業概要 ▶所在地：取手市山王266 ▶代表者：池田 裕児 ▶業種：米菓製造業

○計画作成時の状況・計画内容

昭和8年創業。職人による手作業と天日干しによる伝統製法により、もち米の旨味や風味にこだわったあられ等の米菓を製造・販売し、受託製造（OEM）により安定した売上がある。しかし、OEMは利益率が低く、自社ブランドの確立による利益率の拡大が課題となっていた。

一方で米菓は、おみやげや贈答品として、一般消費者に一定の需要があり、特に地域限定商品が人気を博しているケースが多いことから、新商品の開発と多品種生産体制の整備を行うこととした。

- ・製造工程の一部を見直し、食品の安全性の向上や複数商品の製造が可能な体制を整備
- ・自社ブランドによる地域限定商品を開発し、自社店舗での販売を強化

○計画の成果・感想及び今後の展開

製造工程を見直し、複数の新商品を開発したことにより、卸売・小売双方の売上が増加した。

今後は、更なる利益率の拡大のため、小売事業の更なる強化を図る。



今回開発した地域限定商品

平成28年度までに計画期間が到来した企業

3

特殊シミ抜き・染色補正と難洗濯品クリーニング・衣類のリペア提供

モリ幸クリーニング

企業概要 ▶所在地：石岡市国府1-5-18 ▶代表者：佐野 徹 ▶業種：洗濯業

○計画作成時の状況・計画内容

昭和3年創業のクリーニング店。近年は、大手チェーン店の進出による競争の激化により、他店との差別化が課題となっている。

一方、シミ抜きや靴・カバン等の難洗濯品などの特殊なクリーニングの需要があるため、これらの技術の内製化に向けた取組を行うこととした。

- ・特殊シミ抜き・染色補正の提供
- ・靴・カバン・難洗濯品のクリーニング
- ・衣類のリペア



店舗外観

○計画の成果・感想及び今後の展開

技術力の向上によって、他店ではできない特殊シミ抜き等ができる店として認知され、新規顧客の獲得に効果があり、売上増加につながった。

今後は、外注対応となっている難洗濯品のクリーニング及び衣類のリペアの内製化を図る。



特殊シミ抜き作業の様子

4

ミドル夫婦層(30～60才代)に発信するシニアシッター事業と学童保育事業の新サービスの事業

株式会社プリマベールジャパン みっしえるくらぶ

企業概要 ▶所在地：牛久市上柏田3-66-6 ▶代表者：鶴崎 智子 ▶業種：ベビーシッター派遣ほか

○計画作成時の状況・計画内容

平成20年創業。ベビーシッター等の子育て・家庭支援サービスを提供してきたが、近年は、保育士の確保と多様化する支援ニーズへの対応が課題となっている。

一方で、高齢者の生活支援や子供の教育支援に係る需要があるため、既存のノウハウを活かした新サービスの提供に取り組むこととした。

- ・シニアシッター受請事業（高齢者の生活支援を実施）
- ・学童保育事業



みっしえるキッズルーム(教室)

○計画の成果・感想及び今後の展開

顧客のニーズに合ったサービスを提供したため、新規事業による売上の拡大を図ることができた。

今後は、当社従業員及び地域住民の子どもを預かる認可・認可外保育事業に係る新たな計画を策定する予定。



学童保育の様子

過去のいばらき経営革新優秀賞受賞企業紹介

第1回（平成26年度）



株式会社富山塗装（常陸大宮市）

「地球と人に優しいエコ塗装の提供とセミナー
ノウハウのパッケージ販売システムの構築」



株式会社茨城県南木造住宅センター（つくば市）

「自社の培った木材扱いの知識と経験を活かした『県産材』の新たな販売サービスの開発とその展開」

松本電工株式会社（小美玉市）

「ショールームの有効活用と独自のオプションブックによって開始する安心の電気自動車充電インフラ設備工事分野への進出」



第2回（平成27年度）



有限会社佐白山のとうふ屋（笠間市）

「茨城の茨城たる新しい豆腐商品の開発と来店客を大切に作る豆腐茶屋への変革」



株式会社カジマ（大洗町）

「本物の海鮮食材とこれを活かして作る惣菜を取り揃えた海鮮専門店の開発」

兼晃園（牛久市）

「『花のある空間』を提案するサービスの展開」



第3回（平成28年度）



稲葉酒造（つくば市）

「地元産果実等を用いた小ロットリキュール製造、伝統ブランド品の復活による新たな事業展開」



有限会社リカーショップドゥ（つくば市）

「酒文化をカジュアルに伝えるお店の設置による新規地酒ファンの創造」

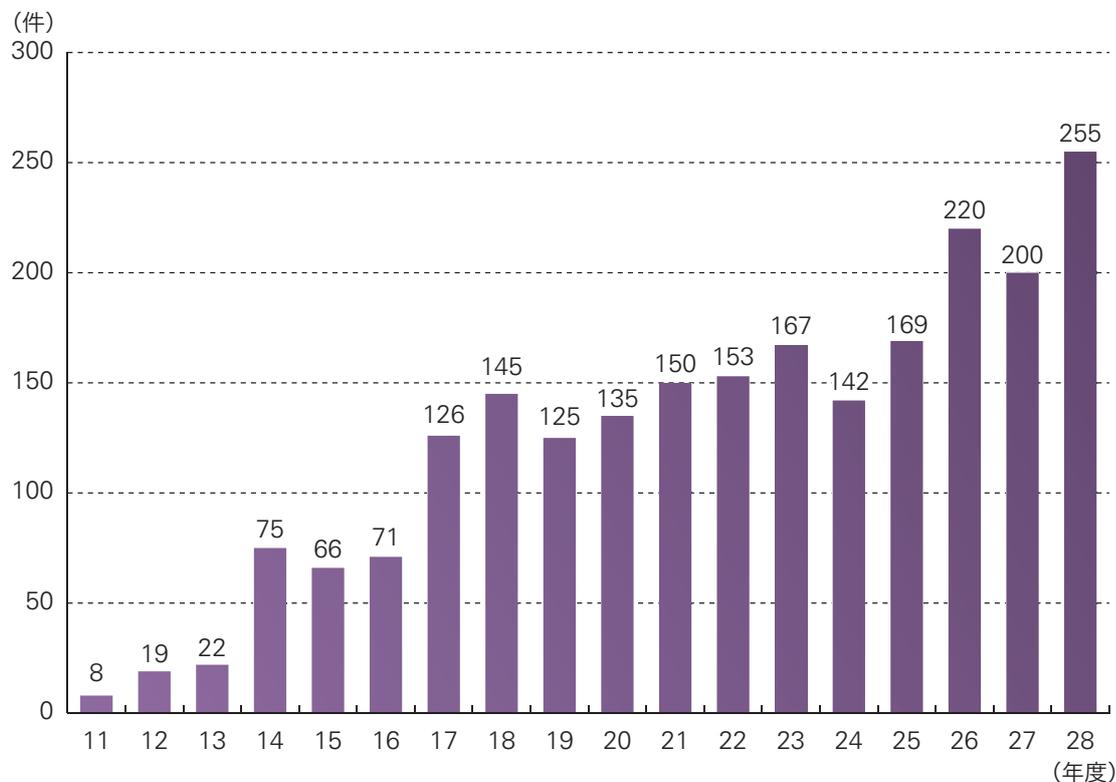
株式会社こころ 笠間ミルクセンター（笠間市）

「高齢者や買い物弱者等への安否確認や生活用品等の配達サービスの提供と従業員の満足度向上の視点を取り入れた新たな営業スタイルの構築」



参考資料

①本県の経営革新計画承認件数の推移（H11～H28）



②経営革新計画作成による主なメリット

【資金調達について】

○金融機関への信用力が向上した 40.3%

【経営全般について】

○社内の意識が向上した 43.2%
 ○中・長期計画の立案が可能となった 46.6%
 ○計画の実行性が増した 43.5%



【知名度・信用度の向上について】

○知名度・信用力が向上した 46.5%
 ○宣伝・営業が行いやすくなった 45.8%

【技術力・開発力の向上について】

○計画を立てる方法がわかった 67.6%
 ○客観的評価が可能になった 39.1%
 ○自社の新製品を開発できた 37.3%

※承認企業 675 社による複数回答（平成 29 年度フォローアップ調査より）

経営革新計画の申請・問合せ先

茨城県商工労働観光部中小企業課

〒310-8555 水戸市笠原町978-6（県庁16F北側）

TEL 029-301-3560（経営支援室）

FAX 029-301-3569

申請様式等のダウンロード

承認申請書及び補助様式は茨城県商工労働観光部中小企業課のホームページから入手できます。

URL：<http://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/chusho/keiei/keieikakushin/yousiki.html>

※各検索エンジンから「茨城県中小企業課」のキーワードで検索可能です。

●ダウンロードページへの行き方

[中小企業課ホームページ](#) → トピックスの [経営革新](#) をクリック →

[申請書様式](#) をクリック